



チーム嶋村 ガバナー月信

Take Action for Rotary Future. Reach Out for World Peace.

第8号 2023年2月発行



親愛なる会長のみなさん

こんにちは。みなさんのクラブ会長年度も残り5か月になります。

昨年7月の初例会の時の高揚感を覚えていますでしょうか？ クラブの目標の達成状況はいかがでしょう？ ローターリー賞にエントリーされたクラブのみなさんは、その進捗を確認してみたいです。残りの期間を前向きに捉えることができれば、次年度以降のクラブの成長にも必ずつながりますので、引続き元気なクラブづくりに邁進して欲しいと願っています。

1. 2023-24年度のRI会長のテーマが発表されました

ゴードン・マッキナリーRI 会長エレクトは、米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会で2023-24年度会長テーマ「CREATE HOPE in the WORLD」（世界に希望を生み出そう）を発表しました。また、「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」と述べました。

みなさんは、このテーマに対してどのように感じましたか？ 私は本年度のジェニファー・ジョーンズRI 会長テーマ「IMAGINE ROTARY」との連続性を感じました。ジェニファー・ジョーンズRI 会長は「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは、その世界に変化をもたらせると知っています」と言われました。そのためには、DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）の体現、会員への配慮とともに、時代・社会・地域の変化に適応したロータリーの奉仕活動こそが必要とします。



私は、ロシアによるウクライナへの侵攻に代表される破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望

チーム嶋村 ガバナー月信

を取り戻すためには、私たちロータリアン、ローターアクターの「Take Action」(行動)が求められていると理解しました。そして、この「Take Action」が私たちに持続可能な変化をもたらすということです。

会員のみなさんとゴードン・マッキナリーRI 会長エレクトのテーマ「世界に希望を生み出そう」について、クラブフォーラムなどで話し合ってみてはいかがでしょうか？

2. 2月は「平和構築と紛争予防月間」です ～身近にいるウクライナ避難民の状況～

昨年2月24日、ロシアによるウクライナへの侵攻は収束が見えないまま1年を経過してしまいそうな状況になっています。その間、多数の死者・負傷者とともに、ウクライナ国内の壊滅的な被害により近隣の国々へ避難を余儀なくされた多くのウクライナの人々がいます。ロータリー財団は「ロータリー災害救援基金」を活用した補助金により、いち早くウクライナへの人道的救援活動を開始しました。また、「ウクライナ救援基金」の創設を決めました。ロータリー財団を通じての人道的救援への理解と基金への支援を引続きよろしくお願ひしたす。

ウクライナの人々への支援の方法はさまざまです。当地区では、街頭募金活動や、隣国のポーランド、スロバキアのロータリーファミリーを通じて支援をしているケースもあります。日本へのウクライナ避難民在留者数は2,140人(2023年1月11日現在)、東京都は567人、沖縄県は22人になっています。先日、私の地元の江戸川区役所にこの件を問い合わせしたところ、江戸川区には30名のウクライナ避難民を受け入れ、お一人5万円の支度金を手渡したとのことでした。今後の支援方法は手探り状態のようです。他の地域では、既に具体的な支援の動きもあるようです(別紙に「板橋区内のウクライナ避難民についてのヒアリング」があります)。クラブの所在地の役所に出向き、ウクライナ避難民の様子や支援状況についてヒアリングをしてはいかがでしょうか？ また、既にウクライナ支援をされているNPO法人などを訪ねるのははいかがでしょうか？ クラブの国際奉仕委員会の出番になると思います。

Reach Out for World Peace 世界の平和のために手を差しのべよう

3. ロータリー平和センタープログラム

ロータリーの平和のための取組みの一つに、ロータリー平和センタープログラムがあります。次世代のピースビルダー(平和構築者)を育成するプログラムです。ロータリー平和フェローシップとともに、ロータリー財団のグローバル補助金を活用した奨学金で、海外の大学院などへの留学を支援する制度があります。昨年12月、第2660地区(大阪北部)の地区大会で、グローバル補助金奨学生の分科会「元グローバル奨学生に聞く人道支援の最前線」に出席しました。登壇者のうちの一人、現在、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)のザンビア事務所に勤務する渡辺菜さんの難民キャンプでのお話しが特に印象に残りました。私たちが想像することもできない難民キャンプで、「不満が多い難民自身がキャンプの中で改善できることを考える機会を作る、提案する支援を行っています」と話されていました。



ロータリーの平和構築の歴史は古く、1914年、第一次世界大戦の直前に「影響力を世界の国家間における平和の維持に役立てること」を提案しました。第一次世界大戦後、1921年の国際大会では、「奉仕の

チーム嶋村 ガバナー月信

理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」という目標を加えました。また、第二次世界大戦後、1945年の国際連合の設立にも関わりました。現在、国連で毎年開かれるロータリーデーでは、平和に向けた共通のビジョンを称え、ロータリーと国連が世界中で行なっている重要な人道的活動を取り上げています。RI 会長や理事、国連のリーダーらとともに、ヤングリーダーも集い、アイデアを交換しています。平和への希望を生み出す人材の育成へのロータリーの強いコミットメントも見ることができるのではないのでしょうか？

ロータリー財団を通じて人道的救援基金への協力と共に、未来のピースビルダーへの投資にも関心を持っていただきたいです。

4. DEI を通じて適応力を高める

私は地区運営方針の5番目に「DEI をクラブ・地区に浸透させましょう」と掲げました。ジェニファー・ジョーンズ RI 会長も、「ロータリーは、ロータリーの関わるすべての人の貢献を大切にし、公平を助長し、人々をより温かく迎えるインクルージョンな文化を創り出すことを目指す」としています。

私は DEI について次のように考えています。

- ・みなさんのクラブの成長のためには、DEI が必要です。
- ・みなさんのクラブが地域社会に適応するためには、DEI が必要です。
- ・「DEI は心の意識の改革です」（足立功一第 2500 地区パストガバナー）

具体的には次のとおりです。

- ・会員増強の面では、みなさんのクラブの職業分類と厚生労働省の職業部類を比較して、新しい職業分類から会員候補者を考える。
- ・例会場・イベント会場を選定する時には、障がい者への配慮を怠らない。
- ・卓話者にロータリーファミリーではない、ヤングリーダーを招き、考え方の違いや変化を理解する。

今までのバイアスや思い込みを克服することが DEI の体現のために大切です。

もしも「DEI は分かりにくい」「なぜ DEI が必要？」という考えをお持ちであれば、DEI について一緒に学んでみませんか？

そのために次の機会を準備しています。

- ・3月1日、地区 DEI・行動計画委員会では DEI セミナー「クラブの成長は DEI の理解から」を開催します。
- ・3月5日、地区学友フェローズ委員会が主催して「多様性」をテーマにした「ROTARY FUTURE フェスタ」を開催します（別紙に「ROTARY FUTURE フェスタ」の趣旨説明がごさいます）。

私たちの未来であるロータリーファミリーとともに、素晴らしい世界をイメージしましょう。刺激ある学びの時間に参加して欲しいと願っています。

DEI を浸透させ、未来に繋がる行動人を目指そう！

5. 4月が「環境月間」になります

「環境」がロータリーの重点項目に加わったことにより、4月が「環境月間」となります（7月が「母子の健康月間」になります）。これは、世界的に認知されている4月22日の「アースデイ」に合わせて提

チーム嶋村 ガバナー月信

案されたものです。本年度は、地区公共イメージ部門でアースデイ 2580「ぶっく・デ・アース」を推奨しています。4月22日のアースデイに向けて、みなさんのクラブで環境に関する活動を実践して欲しいと願っています。昨年10月の「世界ポリオデー2580」のような会員、そして地域社会と一体感のある奉仕活動を展開し、ロータリーのストーリーを地域社会に発信し、認知度の向上につなげていただきたいです。

2023年2月1日

国際ロータリー第2580地区ガバナー 嶋村文男

※ガバナーへのメッセージをお待ちしています→ info@motoffice.jp

今月号、チーム嶋村ガバナー月信編集委員会企画記事のご紹介

元気なクラブづくりのための会員増強、参加型奉仕活動の企画・運営の参考情報です。

1. 新企画！ ロータリアンのご紹介 ～東京新都心 RC と那覇北 RC の会員～ (P. 5)
2. クラブからのロータリー活動の情報提供 ～東京武蔵野 RC と東京小平 RC～ (P. 8)
3. 板橋区内のウクライナ避難民についてのヒアリング (P. 9)

また、P. 16 には「第 2580 地区 2022 年 12 月会員数 (正会員)」がごございます。

2022 年 12 月末日の当地区の会員数は 2,896 名です。

前年度の 12 月末日と比較して 49 名の増加となっています。

新企画！ ロータリアンのご紹介 ～東京新都心 RC と那覇北 RC の会員～ 文書構成：チーム嶋村ガバナー月信編集委員会

元気なクラブづくりや会員増強などの役に立つ情報の一つとして、ロータリアンのご紹介をします。

今回ご紹介するのは、東京新都心 RC の飯尾浄（いいおきよし）さんと那覇北 RC の内間安邦（うちまやすくに）さんです。飯尾浄さんは 2022 年 6 月入会され、職業は ANA のパイロットです。内間安邦さんは 2019 年入会され、総合リフォーム・リノベーション会社を運営されています。

どのようなきっかけで入会されたか、なぜ入会しようと思ったか、また、入会したことにより得ていることなどについてメールで質問し、回答をいただきました。

東京新都心 RC の飯尾浄さん：

Q1：プロフィールを教えてくださいませんか？

56 歳です。愛媛県新居浜市で生まれ高校卒業まで過ごし、大学入学時上京、在学中 1 年間休学してワーキングホリデー制度にてオーストラリアのシドニーで約 10 か月間、日本人観光客のツアーガイドをして過ごしました。帰国後復学し卒業。1990 年、自社養成操縦士訓練生として ANA へ入社し、日本とアメリカアリゾナ州フェニックスにて基礎的な操縦士ライセンスの取得訓練生活を経て、1993 年 10 月、副操縦士昇格、2004 年 1 月、機長昇格、現在ボーイング 787 型式機で国内線、国際線フライトに乗務しております。



Q2：ロータリーへの入会のきっかけは？

2022 年春頃、当時の東京新都心ロータリークラブ会長、小川恵司さんからお誘いいただき、2022 年 6 月、56 歳の誕生日当日に入会させていただきました。

Q3：なぜ入会しようと思ったのでしょうか？

小川恵司直前会長とは約 25 年間懇意にさせていただいており、例会にオブザーブ参加した際の雰囲気もとても良く、お誘いを断る理由がありませんでした。

Q4：入会してどのように世界がひろがりましたか？

先輩ロータリアンのみなさんはさまざまな分野でご活躍されてる上に、とても紳士で新入会員の私にも温かく接していただいています。例会、卓話と毎回これまで知らなかったことばかりで学ぶことが沢山あり、以前とは比較にならないほど視野が広がりました。

Q5：入会してその後いかがでしょうか？

入会半年余りで右も左もわからない状況ですが、2022 年 9 月に地区大会を経験できたこと、ポリオ根絶はじめ、社会奉仕活動など、新たな世界を知ることができました。先輩ロータリアン、例会、卓話を通じて自分自身をセルフチェックするきっかけとなっています。とても有意義な時間を過ごしています。

チーム嶋村 ガバナー月信

那覇北 RC の内間安邦さん：

Q1：会社の概要を教えてくださいませんか？

株式会社パーフェクトMは総合リフォーム・リノベーション会社です。住宅や店舗、ホテル、学校、病院等の内装工事や外装（塗装・防水）工事をメインに行っています。沖縄県・那覇市の公共工事の受注や土地建物の売買・仲介・管理も行っています。わたしたちの社名である「パーフェクトM」には、Perfect（完璧な）・Mind（心・精神・想い）で、お客様の満足度を追求し、人と人のつながりを大切にし、新たな暮らしの価値を創るという意味が込められています。



Q2：ロータリーとの出会いを教えてくださいませんか？

那覇北 RC チャーターであり、私の尊敬する平良朝敬かりゆしグループ会長との出会いでロータリーのことを知り、入会しました。平良朝敬会長には、那覇北 RC、ビジネス、プライベートでもたいへんにお世話になっています。

Q3：ロータリーへの印象を教えてくださいませんか？

2019年入会当時、40歳の私には、ロータリーのごことは全く未知であり、物凄く大きな存在で、とても緊張する会でした。例会の美味しい昼食も、恐縮して1年間ぐらい食べられなかったです（笑）。そんな中でしたが、四つのテストが最も素晴らしく印象的でした。

Q4：那覇北 RC になぜ入会したのでしょうか？

那覇北 RC への入会は、私の顔見知りの尊敬する先輩経営者たちも多くいたことです。何より WELCOME 精神が強く、最初からとてもフレンドリーでしたので、私の長所でもある即行動で、まずは入会し那覇北 RC のこと、そしてロータリーのことを深く知ろうと思ったからです。

Q5：那覇北 RC に入会してみていかがでしょうか？

新型コロナも落ち着き、通常の例会や夜間例会を通して那覇北 RC 会員と楽しくつながり、確実に自己成長をしながら、奉仕活動をしています。「水辺の美化プロジェクト in 渡嘉敷島ビーチクリーン」や「世界ポリオデー2580」の街頭募金活動などです。初めて地区大会にも参加することができました。ロータリーの新たな気づきが多くありました。

昨年 12 月 22 日、ガバナー公式訪問で嶋村文男ガバナーの卓話を聴き、初めてお話しすることができました。一瞬で嶋村ガバナーに魅了されました。卓話中、四つのテストの中でどれが気になるかという質問がありました。嶋村ガバナーは「みんなに公平か」についてお話しをされていました。もの凄く共感しました。今でも共感を強く感じています。「みんなに公平か」と他の三つを胸に、これからもロータリーの活動を通して、先輩、後輩、大経営者、若手経営者、社員等、私に関わるたくさんの人と人とのつながりを大切にしていきたいと思えます。

チーム嶋村 ガバナー月信

Q6：今後の那覇北 RC への期待はありますか？

那覇北 RC には若さと友情があります。若さにはパワーと可能性があります。私も現在 44 歳、ロータリアンとしてもまだまだ若いです。那覇北 RC の添石幸伸会長を筆頭に会員と今後もさらなる友情を深め、ロータリーの活動から多くを学び、人としての魅力を高めて、嶋村ガバナーのように一瞬で人を魅了できるようなロータリアンになります。継続は力なりの精神で、ロータリーの未来のために世界の平和のために、今後も那覇北 RC を盛り上げていきたいです。

最後に、那覇北 RC の本年度クラブターゲットをご紹介します。「Make the future ～「友情」と「奉仕の理想」を胸に、輝かしい未来を切り開こう～」

クラブからのロータリー活動の情報提供

米山奨学生アグニェシュカ・ブタイウオさんによるミニ講演

執筆：東京武蔵野ロータリークラブ

当クラブは、ポーランド出身の米山奨学生アグニェシュカ・ブタイウオさん（通称アガさん）の世話クラブで、カウンセラーも引き受けています。アガさんは現在、早稲田大学大学院に在籍し、公的機関で使われるやさしい日本語について研究しています。流暢な日本語と持ち前の明るさでクラブの皆に声をかけられています。当クラブは武蔵野市国際交流協会（通称MIA）の会員であり、また会員の中には法人会員として会社を登録している人や個人会員としてボランティア活動している人もいます。MIAでは「世界を知ろう！ 世界の人とふれあおう」という外国人による自国紹介のシリーズを行っています。このシリーズを利用して、12月10日、アガさんに一般の人向けにポーランドの紹介をしていただきました。

開口一番、ポーランド語で早口に自己紹介。何を言っているか分からないで面食らっていると、丁寧に日本語で近況をお話してくれました。日本からの距離、国旗の説明を終えて、フルートを取り出し、国歌を演奏しました。ポーランド語を紹介し、来場者の間を回りながら問いかけをしたり、答えを受けたり、和やかな雰囲気になりました。ポーランドの景色に移り、ワルシャワの高層ビル群、旧市街地、バルト海に突き出すヘル半島、南のタトラ山脈などを写真で紹介。それから、またフルート演奏し、聞き慣れた旋律だと思っていると、「森へ行きましょう、娘さん アハハ・・・」の曲でした。ポーランドの「森へ行きましょう」という曲なのです。お話しはポーランドの著名人に移り、ショパン、コペルニクス、キュリー夫人、ワレサ、ヨハネ・パウロの名が出ました。そして誕生日のお話しになり、自分の生誕日を祝うというよりも名前に付けた聖人の日を祝う方が普通であること、クリスマスにはチキンを食べないで鯉を食べることなど面白いお話しがいくつも続きました。言語学を研究しているので特に長崎弁が面白いことなども流暢な日本語でお話していました。



来場者は31名、満足した様子で聴き入っていました。質問の時間には、ポーランドに興味を持った人が多く、いつかポーランドに行ってみたくないと希望をお話する人たちもいて、日本とポーランドのかけ橋となったのではないかと感じました。

12月3日「親子でいっしょ」にガーデニング

執筆：東京小平ロータリークラブ

小平市内在住の小学生と保護者12組24名をご招待し、親子で寄せ植えを楽しんでいただきました。20年以上前から続く「親子でいっしょに」シリーズですが、コロナ禍のため中止や募集人数を絞るなど思うように活動できない状態が続いているものの、毎年応募してくださる方もおり、われわれの活動が根付いてきていることを実感しています。



チーム嶋村 ガバナー月信

板橋区内のウクライナ避難民についてのヒアリング

執筆：チーム嶋村ガバナー月信編集委員会

この2月は、ロシアによるウクライナ侵攻から1年、また「平和構築と紛争予防月間」ということで、昨年末、板橋区長を訪問し、ウクライナ避難民についてのヒアリングを行ってきました。嶋村ガバナーにお伝えしたところ、会長のみなさんに共有することとなりました。ヒアリングのメモを下記します。

嶋村ガバナーからは、「地元の市区役所に出向いてウクライナ避難民のことを尋ねてみませんか？」とのことでした。

Reach Out for World Peace 世界の平和のために手をさしのべよう
まずは身近なところから、いかがでしょうか？

ヒアリングのメモ：

- ・板橋区内のウクライナ避難民は16世帯21人（18歳未満4人）です。女性と子どもがほとんどです。
- ・区営住宅、都営住宅にも住っていますが、民間のシェアハウスに10世帯が住んでいます。そこでは、ウクライナ・コミュニティができ、孤立を回避しています。
- ・板橋区には文化・国際交流財団があるので、いち早くウクライナ避難民に対応できました。財団の基金から一時金315万円も速やかに支給できました。
- ・板橋区はウクライナ避難民のクラウドファンディングも実施し、450万円を集めました。上記一時金の支出などを補てんするために使う予定です。
- ・また、板橋区と財団で常設の窓口も設置して、ご相談に対応しています。避難民のもとに出向くこともしています。
- ・財団では月1回、避難民との会合も行っています。
- ・このような体制があり、身元引受人となるNPO、個人もいたことから、避難民が比較的多くなっています。
- ・ウクライナ料理教室に参加した避難民もいましたが、多くは「そっとしておいてほしい」というアンケート結果です。
- ・今後の意向については、引続き日本にいたいとのことでした。このため、板橋区と財団は就労支援を東京都／ハローワークと共同で行っています。
- ・日本語教室は必要ですが、避難民のほとんどは英語が話せるので、英語でコミュニケーションはとれます。
- ・子どものうち2名が小学6年生です。今春の進学の際に、制服購入などのニーズがあるのではないかとということで区役所に調査いただくことになりました。

※板橋区の「ウクライナ避難民に対する支援」ページ：

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bunka/kouryu/torikumi/1038409/1038926.html>

ウクライナ避難民に対する支援

1 相談窓口

板橋区板橋二丁目65番1号 板橋区役所本庁舎5階
国際文化・国際交流課 文化・国際交流係 (3579)2018

2 開設日

令和4年4月26日（水曜日）から

3 相談時間

月曜日から金曜日（祝日は除く）午前9時から午後5時まで

4 対応言語

ウクライナ語、ロシア語、英語、やさしい日本語
（ウクライナ語とロシア語での窓口対応は、音声通訳機及び電話通訳を介して対応します。電話による問い合わせは英語のみ対応します。）

5 対象者

ウクライナから避難してきた人又はその家族、身元保証人など

6 支援体制（9月15日時点）

国や東京都、企業などの支援を求め、ウクライナ避難民の支援に関する情報を集約し、相談内容に応じた支援をワンストップ窓口で実施しています。

(1) ワンストップ窓口における支援

ROTARY FUTURE フェスタ ～私たちの大切な財産である学友との再会を喜びましょう～

執筆：地区学友フェローズ委員長 平井憲太郎

会長のみなさま

2023年3月5日（日）、タワーホール船堀にて、「ROTARY FUTURE フェスタ」を開催します。

ロータリーでは数多くの青少年を対象とするプログラムを行っています。RI が規定した常設プログラムとして、インターアクト、ローターアクト（現在は青少年奉仕プログラムから外れています）、青少年交換、RYLA があり、わが国独自の米山記念奨学金、またロータリー財団による奨学金プログラムも長年行われており、その卒業生の数は膨大なものとなっています。また、各クラブ独自で行っているものも、数多くあります。RI ではそれらの卒業生を総称して「学友」（Alumni：アルムニ）と呼んでいます。私たちロータリアンも含めてロータリーファミリーを構成しているのです。

私たちの大切な財産である学友達と私たちロータリアンが再会を喜び、その絆を再確認する機会として、これまで2019年5月、2021年4月に「学友の集い」を開催し、それぞれ100名を超える方々に集まっていただきました。「楽しかった」というご感想をたくさんいただきました。今回の「ROTARY FUTURE フェスタ」はそれを大幅にバージョンアップしたイベントとして開催します。

コラムニスト・コメンテーターとして活躍している小原ブラスさんと、2016年のリオデジャネイロ・パラリンピックで水泳の代表選手として活躍した一ノ瀬メイさんをゲストとして、ロータリーの大きな目標である多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）をテーマに講演、パネルディスカッションを行います。



2019年5月に開催した第1回学友の集い

Rotary 第2580地区 国際ロータリー第2580地区

～Rotary Future Festa～
ロータリーの未来のために行動しよう
ロータリーファミリー-世界の地区大会を制覇する。あらためて皆さんで未来を考え、共に行動する契機にしましょう。

午前部オープニングフォーラム
開場 9:30 / 開演 10:00～11:45
Special Talk 僕は「ほとんど日本人」～だから、あなたに伝えたい～

コメンテーター・コメンタリー
小原ブラスさん
「ほとんどの日本人」～だから、あなたに伝えたい～
コメンタリー
一ノ瀬メイさん
リオデジャネイロパラリンピック水泳代表選手として活躍した一ノ瀬メイさん

ランチタイム (12:00～12:40)
午後部パネルディスカッション
テーマ「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI)」
開場 12:45 / 開演 13:30～17:00
Panel Discussion
～磨ろう！私たちの多様性、公平さ、インクルージョン (DEI)～

2023年3月5日(日) タワーホール船堀
開場 9:30 開演 10:00～17:00

主催：国際ロータリー第2580地区学友フェローズ委員会
後援：江東区
特別協賛：ロータリアン、ロータリーファミリー、区内中学生の高校生・筑波大学
中心：国際中心ファミリーとして活動中。親切に2023年2月24日
協賛：東京大学及び筑波大学
お問い合わせ：rotary2580@rotary.or.jp

登録料：ロータリアン 7000円 / ロータリーファミリーの皆さん 2004円 (学生は無料)
※会場にてお振替ください。

午前中は地元の高校生も招待

10時15分から17時00分までの長丁場ですが、午前は、地域に貢献するロータリー活動を紹介するために、会場の立地する江戸川区の高校生も招待する講演会、ランチを挟んで午後はロータリーファミリーだけの交流の機会として開催します。午前だけ、午後から、全体通しての、いずれでもご参加いただけます。

正式のご案内も別途クラブに送信予定です。貴クラブで関係したロータリーファミリーメンバーにもお声がけいただき、ロータリアンともども多数のご参加をお待ちしています。

チーム嶋村 ガバナー月信

派遣国決定通知、クリスマス懇親会

執筆：地区青少年交換委員長 飯塚憲貴

2022年12月25日、神保町の学士会館にて、6月からこれまで研修をしてきた、第58期派遣予定学生11名に派遣国決定の通知をしました。一人ずつ保護者の方と一緒に入室していただき、これまでの感想を聞いた後、派遣国とその理由を説明しました。11名全員が喜んでいたり、安堵の表情であり、嫌な顔をする派遣予定学生がおらず、安心しました。中には、事前に伝えていないにもかかわらず、前日に夢でこの光景を見たとか、挨拶を考えていた時になぜかその国をイメージしていたとか、運命的なものを感じることで決めたものもありました。これから本年8月の出国まで、研修と準備をしっかりと行います。そしてそれからの1年間、派遣学生それぞれの感性や個性を活かして、わたしたちに今まで聞いたことのない海外生活を教えてもらいたいと思います。

その後、広い会場に移動して、毎年恒例のクリスマス懇親会を開催しました。ご来賓、ロータリアン、学生、ROTEX、保護者、ホストファミリーなど、コロナ感染者がまた増えている状況にもかかわらず、160名以上にご参加いただきました。ここではまず、派遣予定学生、来日学生全員の入場行進の後、当事者しか知らない派遣国を栃木一夫ガバナーエレクトから通知いただきました。派遣予定学生たちへは仲間たちからの激励と驚きがありました。来日学生たちからも日本語で挨拶をしてもらいましたが、「この4か月で本当に日本語がうまくなったな」というのが率直な感想です。一部の来日学生の日本語取得が遅れているような報告も受けましたが、毎日会っているとその成長が見えないこともたくさんあります。子どもたちは日々成長しているので、青少年交換留学生たちを信じてサポートしていこうと思いました。

後半は、こちらも毎年恒例のケーキオークションを開催しました。派遣予定学生、来日学生が、ホストファミリーと一緒に企画から作成まで責任をもって行ってもらいました。出身国のイメージ、派遣予定学生、来日学生の想いや、ご来場のみなさんへの感謝がたくさん詰まったケーキばかりで、久保田京花 ROTEX 代表の司会により、オークションは盛り上がり、白熱しました。19名の派遣予定学生、来日学生から25個のケーキが集まった結果、総額60万近い支援金を集めることができました。本年春休みに行うジャパンプツアーやフィールドトリップなど素晴らしい少年交換プログラム体験ができると思います。

最後になりますが、本年度は2年ぶりに青少年交換を再開しております。これができているのも、たくさんの方々への応援やご協力、そしてご支援のおかげです。派遣予定学生、来日学生、保護者、地区青少年交換委員を代表して、お礼を申し上げます。誠にありがとうございます。残り半期も引続き、みなさま、派遣予定学生、来日学生を温かく見守り、またご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



4つのF賞へのエントリー

執筆：地区クラブ運営支援部門長 高橋博文、地区クラブ奉仕委員長 小澤徳

会長のみなさま

「4つのF賞」へのエントリーのご検討、ご準備をよろしく申し上げます。

嶋村文男ガバナーの基本方針の一つに、ロータリーの未来のためにクラブ会員の積極的な参加を促し、地域社会にロータリーのストーリーを伝え、行動することが「クラブの活性化に繋がる」とされております。しかしながらここ数年、我々のロータリー活動は新型コロナウイルス感染症による行動制限を受けて奉仕活動、親睦活動、例会開催そのものまで思い通りに行うことが叶わなかったことでしょう。

クラブの運営支援を行う地区クラブ奉仕委員会では、アフターコロナの「元気なクラブづくり」のために「ロータリー賞」へのエントリー推奨を進めています。また、本地区本年度独自の奉仕賞「4つのF賞」も進めます。「4つのF賞」は「奉仕の理念を楽しく競うアワードを楽しもう」という想いで、4つのF＝「Fresh（斬新）、Fellowship（連帯感）、Find（出会う）、Fun（ワクワクする楽しみ）」に該当する活動を高く評価し表彰します。対象は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕のほか、クラブの取組み・工夫、親睦活動などです。

【4つのF】の例

Fresh（斬新・Take Action）：ロータリー賞、ポリオデーでの街頭募金活動

Fellowship（連帯感・Reach Out）：久しぶりの親睦旅行、同好会、思いやりを感じた事

Find（出会い、発見・World Peace）：地区補助金活用の奉仕活動を通じて気づいた事、それにより地域社会のニーズを掴んだ事。世界の平和について気付いた事

Fun（ワクワクする楽しみ・Future）：若手の入会で将来の展望が見えた事、ロータリーへの夢

追って、地区クラブ奉仕委員会より「エントリーシート」へのご記入のお願いをさせていただきます（4月30日までにご提出をいただく予定です）。

「4つのF賞」の表彰は、2023年6月27日、地区納めの会となります。各クラブの想いの詰まった活動を称えあう活動発表の場とします。本年度の「元気なクラブづくり」の総決算とともに、次年度へつながるものとなることでしょう。

地区クラブ運営支援部門より「ロータリー賞」の進捗管理ご担当への事務連絡：

「ロータリー賞」の受賞資格に影響しますので、1月のRIへの人頭分担金納入もお忘れなようご注意ください。

チーム嶋村 ガバナー月信

正しいロゴの使用とロータリーブランドの構築

執筆：地区公共イメージ部門長 新城恵子

会長のみなさま

ロータリーにおける広報は多くの人にロータリーを知ってもらうことです。これにより地域における奉仕活動へのサポートも増えます。ロータリークラブの魅力ある奉仕活動をクラブ内外に伝え、人々の共感を産みだし、仲間が増えていく、その循環をサポートすることが役割であり、この循環こそが公共イメージ向上だと考えています。たとえば、昨年10月に行われた「世界ポリオデー2580」は、各クラブがさまざまな街頭募金活動を行うとともに、これに共感した地域の支援者も加わり、共感の輪を広げることができました。

地域の人びとが抱くロータリーへの認識は、使用する視覚的イメージに基づいても形づくられます。一貫したブランドコミュニケーションを駆使することで、ロータリーブランドを強化し、協力、寄付、参加、そして入会への関心を高めることができます。強固なブランドを築くには、一貫したビジュアルアイデンティティが欠かせません。たとえば、ロータリーのロゴです。

例



クラブで使うロゴは、公式ロゴにクラブ名を入れたものとする必要があります。このことは、ローターアクトとインターアクトでも同様です。

各クラブには積極的にブランドリソースセンターを活用し、「正しいロゴの使用」を含めてロータリーブランドの構築に取り組むことが期待されています。各クラブで担当委員長によりクラブの一貫したブランドへの仕組みづくりに着手していただきたいです。もしもクラブ旗が旧来のもののままである場合、「正しいロゴ」を使用したクラブ旗に買い替えることをお勧めします。

なお、3月16日、19時00分から、地区広報委員会でブランドリソースセンターの活用やSNS発信をするためのZoomセミナーを開催します。その時には、ロータリーブランドの一貫性の意義なども深掘りする予定です。追って、ご案内を差し上げます。クラブのご担当者のご出席をよろしくお願ひします。

【参考サイト一覧】

広報：<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/learn-topic/public-relations>

ブランドリソースセンター：<https://brandcenter.rotary.org/ja-jp>

ブランドの要素：<https://brandcenter.rotary.org/ja-jp/our-brand/brand-elements>

ロゴとグラフィック：

<https://brandcenter.rotary.org/ja-jp/our-brand/brand-elements/logos-and-graphics>

メルボルンでお会いしましょう

執筆：国際大会参加推進委員長 加古博昭

メルボルン国際大会は、2023年5月27日より5月31日までの5日間オーストラリアのメルボルンで開催されます。会場はメルボルンコンベンション&エキシビジョンセンターとロッド・レーバーアリーナ&オリンピックパークです。当地区ロータリアンのみなさまのご登録、ご参加をお願いします。国際大会では、ジェニファー・ジョーンズ会長と日本人親善朝食会などで会うチャンスがあります。会長のスピーチからRIが目指す方向などを理解するチャンスです。

日本人親善朝食会（先着500名）

日時：2023年5月28日、午前7時00分受付開始、7時30分開会、9時00分閉会

会場：フェデレーション・スクエア（フリンダース・ストリート駅前）

会長のみなさまは、会員のみなさまに国際大会への参加と、ロータリーの目的の一つである国際親善のため海外のロータリアンとの友情を深めることを奨励いただきたく存じます。国際大会に多くの会員と参加することによりクラブの親睦もより深められると信じております。

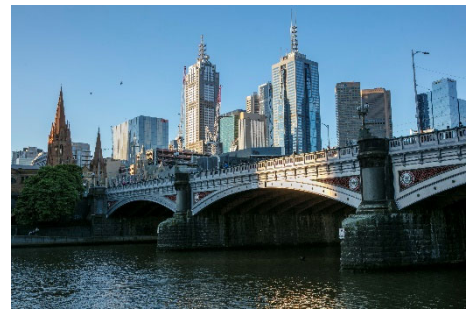
5月28日夕方、嶋村文男ガバナー主催のガバナーナイトをクラウンタワーズ・メルボルンで開催します。地区内ロータリアンの友情を深めるため、ぜひご参加いただきたく存じます。250名着席のバンケットルームをご用意しました。クラウンタワーズ・メルボルンと国際大会会場のメルボルンコンベンション&エキシビジョンセンターは至近距離にあります。

ガバナーナイト（先着250名）

日時：2023年5月28日 午後5時30分受付、6時00分開会、8時00分閉会

会場：クラウンタワーズ・メルボルン バンケットルーム

開催地であるメルボルンを紹介します。メルボルンはオーストラリアの南東部のヴィクトリア州に位置し、シドニーに次ぐ大都市です。メルボルンは市街地にトラムも走っています。英国の面影を色濃く残す美しい都市で、「ガーデンシティー」の異名を持っています。また世界一住みやすい都市とも言われています。市街地では「ロイヤルアーケード」や「ブロックアーケード」などの歴史あるショッピングストリートや「ヤラ川」添いなどの散策を楽しめます。また、欧州文化を感じさせる「カフェ」などで過ごすひとときも楽しみの一つとなるでしょう。メルボルンの街は、観光、ショッピング、グルメなど、とても魅力的です。また、メルボルンの大きな特徴は日帰りで行ける世界的な観光名所を控えていることです。世界一小さなペンギンであるフェアリーペンギンの行進で有名な「フィリップ島」、世界一美しい海岸線の異名を持つ「グレートオーシャンロード」、オーストラリアワイン銘醸地である「ヤラヴァレー」、原生林生い茂るダンデノン丘陵を走る蒸気機関車「パフフィンビリー鉄道」など見所満載です。



写真提供：ツーリズムオーストラリア

国際大会参加を機により親睦を深める良い旅になること間違いなしです。当地区のロータリアンのみなさま、メルボルンでお会いしましょう。

チーム嶋村 ガバナー月信

入会者情報 ～クラブにおける会員増強のためのヒント・アイデアを提供します～

1. 情報収集の時期

2022年12月16日から2023年1月15日まで（なお、入会日は11月1日から1月10日まで）

2. 入会者数（任意の提供ですので、実際の人数とは合致していないと存じます）

13名

3. 入会者の年齢層（小数点第2位切捨て）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	0	2	4	5	1	1
割合	0%	15.3%	30.7%	30.7%	7.6%	7.6%

※最年少38歳、最年長71歳

4. 入会者の性別（小数点第2位切捨て）

	男性	女性
人数	10	3
割合	76.9%	23.0%

5. 職業

タレント育成、美術商、広告・システム関連、不動産（2名）、金融商品仲介、銀行-信用金庫（2名）、四年制大学、生命保険、プラスチック材料（卸）、呉服販売、飲食業

6. 紹介者との関係

取引先・仕事関係（3名）、元会員、別の会の友人（趣味の会）（2名）、地元関係者、元会員の大学理事後任者、会員知人（3名）、会員のご子息、逝去された会員の会社を引き継いだ方（他の会員とも面識）

7. クラブ別に入会者数（クラブ名、一部省略）

東京四谷（2名）、東京紀尾井町（3名）、東京お茶の水（1名）、東京ワセダ（2名）、東京浅草（1名）、東京小平（1名）、東京田無（1名）、東京福生（1名）、宜野湾（1名）、以上9クラブから回答

8. 特記事項

- ・1月号掲載の「上半期分析」の傾向が現れています。
 - ①入会者の多い年齢層としては、40代・50代。
 - ②入会者の多い職業は、不動産業、生命保険など。
 - ③入会者との関係で多いのは、友人・知人、取引先・仕事上のおつきあい、地域関係者など。

ご協力いただきましたクラブのみなさま、入会者情報をご提供いただき、誠にありがとうございました。

第2580地区 2022年12月会員数（正会員）

2023/1/18

分区	クラブ名	正会員数						
		7月1日	12月末	増減	入会者 累計	退会者 累計	女性	
中央分区	東京	335	330	-5	6	11	8	
	東京西北	55	56	1	2	1	0	
	東京神田	58	61	3	5	2	2	
	東京麹町	55	58	3	3	0	8	
	東京城北	18	19	1	1	0	3	
	東京新宿	70	68	-2	1	3	0	
	東京セントラルパーク	31	32	1	1	0	3	
	東京四谷	29	31	2	2	0	6	
	東京練馬西	26	26	0	1	1	4	
	東京新都心	58	60	2	3	1	0	
	東京紀尾井町	77	81	4	5	1	25	
	東京お茶の水	36	39	3	4	1	3	
	東京練馬中央	25	24	-1	0	1	3	
	東京ワセダ	36	38	2	5	3	10	
	東京御苑	12	12	0	1	1	2	
	東京丸の内	9	9	0	1	1	6	
	東京一ツ橋	20	21	1	1	0	8	
	小計	950	965	15	42	27	91	
北分区	東京北	102	101	-1	2	3	7	
	東京池袋豊島東	48	46	-2	0	2	6	
	東京王子	42	42	0	3	3	4	
	東京浅草	64	69	5	6	1	3	
	東京板橋	40	42	2	2	0	2	
	東京荒川	37	37	0	1	1	6	
	東京小石川	35	33	-2	1	3	6	
	東京池袋西	25	26	1	2	1	0	
	東京上野	43	48	5	5	0	5	
	東京浅草中央	47	45	-2	0	2	0	
	東京本郷	47	47	0	1	1	4	
	東京板橋セントラル	16	16	0	0	0	4	
	東京リバーサイド	30	38	8	9	1	3	
	東京後楽	42	42	0	3	3	3	
	小計	618	632	14	35	21	53	
	東分区	東京東	68	59	-9	2	11	2
		東京江北	45	45	0	0	0	0
		東京江東	21	22	1	1	0	3
東京江戸川		43	44	1	2	1	1	
東京葛飾		25	28	3	3	0	1	
東京城東		34	35	1	1	0	1	
東京向島		27	30	3	5	2	3	
東京東江戸川		23	21	-2	0	2	0	
東京葛飾東		17	17	0	1	1	0	
東京足立		23	23	0	1	1	5	
東京ベイ		16	15	-1	0	1	1	
東京臨海		82	85	3	3	0	0	
東京江戸川中央		19	25	6	6	0	0	
東京臨海東		20	21	1	2	1	9	
東京葛飾中央		22	23	1	1	0	1	
東京臨海西		39	40	1	1	0	0	
小計		524	533	9	29	20	27	

分区	クラブ名	正会員数					
		7月1日	12月末	増減	入会者 累計	退会者 累計	女性
武蔵野分区	東京武蔵野	28	30	2	2	0	4
	東京小平	22	22	0	1	1	1
	東京田無	23	23	0	1	1	3
	東京東久留米	31	30	-1	0	1	1
	東京保谷	11	11	0	0	0	3
	東京武蔵野中央	38	36	-2	0	2	4
	小計	153	152	-1	4	5	16
	多摩分区	東京青梅	35	35	0	0	0
東京東村山		27	28	1	1	0	2
東京福生		45	50	5	5	0	4
東京東大和		19	19	0	0	0	2
東京武蔵村山		30	30	0	3	3	0
東京秋川		43	45	2	2	0	2
小計		199	207	8	11	3	10
沖縄分区		那覇	63	64	1	4	3
	石垣	51	51	0	1	1	3
	コザ	26	26	0	0	0	2
	那覇西	50	52	2	6	4	2
	宮古島	28	32	4	4	0	1
	宜野湾	30	31	1	1	0	13
	那覇東	37	39	2	4	2	8
	浦添	28	27	-1	0	1	9
	名護	33	34	1	2	1	7
	那覇南	19	26	7	7	0	4
那覇北	22	25	3	4	1	1	
小計	387	407	20	33	13	50	
合計	2,831	2,896	65	154	89	247	

7月1日クラブ数 70 RC
 7月1日会員数(前年度から継続) 2,831 名
 (内女性会員 232 名)

12月末クラブ数 70 RC
 12月末会員数 2,896 名
 (内女性会員 247 名)

12月入会者 10 名
 (内女性会員 2 名)

12月退会者 48 名
 (内女性会員 5 名)

本年度入会者 154 名
 本年度退会者 89 名
 本年度会員増減数 65 名
 本年度女性増減数 15 名

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

米山功労者・メジャードナー

56回	依田 巽（東京）
20回	加藤 幸男（東京練馬西） 金田 康男（東京紀尾井町）
19回	廣田 健史（東京向島）
16回	寺 紘一（東京荒川）
13回	迫 幸治（那覇東）

米山功労者・マルチプル

7回	榎本 敏昭（東京向島）
5回	田崎 和則（東京向島）
2回	宮地 勝美（東京紀尾井町） 山本 一博（東京向島） 小松崎 慎一（東京向島）

米山功労者

森田 建二（東京紀尾井町）	渡邊 藍子（東京紀尾井町）
前原 秀一（東京紀尾井町）	山崎 康基（東京向島）

12月31日分まで 敬称略、順不同

編集： 国際ロータリー第2580地区 ガバナー月信編集委員会
ガバナー月信へのお問い合わせ／コメント： info@motoffice.jp

チーム嶋村 ガバナー月信